

# 年中組、初めての「英会話教室」を実施！ゲームやクイズなどで大盛り上がり！

～ちょっと緊張気味の子供たちも徐々に慣れ、自分から手を挙げて発表する子も！～



1月25日(金)、遊戯室において初めて年中組の「英会話教室」を実施しました。講師の先生は、昨年の年中組と同じ「カルちゃん、スーちゃん」先生。

初めに、日本人のスーちゃん先生(カルちゃんの奥さん)が、日本語で自分達を紹介しました。聞いている年中の子供たちもスーちゃん先生の方をじっ



と見ています。表情も硬く、緊張した面持ちです。しかし、自分を紹介されたカルちゃん先生の「hello」という大きな声、そしてオーバーなアクションにより、子供たちに笑顔が。すると、カルちゃん先生は積みかけるように更にオーバーアク

ションを続け子供たちを笑いに誘い込みます。スーちゃん先生も、子どもたちの様子を見て「より分かりやすくするため」に、カルちゃん先生のフォローに入ります。元気いっぱいのカルちゃん先生と、優しく教え上手のスーちゃん先生。呼吸もぴったりです。さすがご夫婦！

初めに、英語が身近であることを知るため、服に書かれたアルファベットさがしをしました。自分の身に付けているものにたくさん書かれていることを知り、「いっぱいある」と驚いていました。



また、いろいろな国旗を見て、その国の「こんにちは」を学びました。「ハロー」「ナマステ」「ジャンボ」など、カルちゃん先生が独自のオーバーアクションをつけて繰り返し教えると、子供たちも同じアクションをして覚えようとします。初めは小さい声でしか言えなかった子も、少しずつ大きな声で言えるようになります。そして最後は、「それらの国のあいさつを合わせ



た歌」をみんなで歌いました。初めは難しいので、子供たちは「hello」と「こんにちは」のところだけ歌うように言われましたが、中にはこの歌を知っている子もいて、ふりを付けながら元気に歌っていました。

次に、「英語でのあいさつ」の練習をしました。カルちゃん先生に「hello、How are you?」と聞かれ、「I'm Fine. Thank you. And you?」と答える練習です。意味については、スーちゃん先生が教えてくれました。両手を広げ、鉄人28号が「ガオー」とするポーズをしながら答えるのがコツで、子供たちは元気一杯に答えていました。



最後はゲームです。初めに、ホワイトボードに「いろいろな国旗」が描かれたカードが裏返しにされて並べられました。男女に分かれ、それぞれ2人組になり同じ国旗を当てていきます(トランプの神経衰弱と同じ)。カードを指すときは「これ」とは言わず、「this」と言わなければなりません。次に、カルちゃん先生が示す写真は、日本とアメリカどちらの国に関係するものかを答えるゲーム



をしました。正解すると飛び跳ねて喜び子どもたちの様子が印象的でした。ゲームを通じて楽しみながら自然に英語が身につくようにしていると感じました。

**[写真]どの活動でも、子供たちの生き生きとした表情が見られます。「好きになる、興味を持つ」ことは大事ですね。**